

1 収益的収支の状況

（1）収 益

年間平均の病床利用率は、平成29年度に入院患者数の増加により70.4%まで回復したが、平成30年度は65.1%に減少した。

医業収益のうち入院収益は、内科の入院患者は増加したものの、外科、整形外科の入院患者の大幅な減少により前年度比で25,706千円の減収、外来収益は、内科、産婦人科、歯科を除く診療科で患者数が減少したものの、1日平均患者数の微増により3,903千円の増収となった。また医業外収益では、一般会計負担金が10,000千円の増額となった。

この結果、総収益は前年度比7,039千円の減少となった。

患者数は減少傾向にあり、主な要因としては、元気な高齢者の増加による全体の受療率の低下、高齢者を含めた人口の減少など考えられるが、これらが複雑に絡み合っていることから、確たる原因を特定することは難しい状況にある。地元の1次医療及び回復期医療を担う当院には高齢者を中心とする一定の受診者が見込まれるものの、人口減少の状況によっては、今後も流動的な傾向が続くものと思われる。

（2）費 用

医業費用では、前年度比で給与費が5,090千円、材料費が1,075千円それぞれ増加、経費が1,901千円、減価償却費が21,861千円それぞれ減少となった。給与費や材料費が増加した一方で、電子カルテシステム等の減価償却終了などの要因があり、総費用では前年度比20,628千円の減少となった。

（3）収 支

収益、費用ともに減少する結果となったが、収益の減少を費用の減少が上回ったことから、総収支比率は対前年度比1.2ポイント増となり、97.8%まで回復した。7年連続の経常赤字は回避できなかったものの、対前年比13,589千円の赤字が縮小し、黒字転換まであと少しという状況にあった。

2 欠損金の状況

一時は288,569千円まで達した利益剰余金が、連続の赤字により平成29年度末で8,871千円まで減少していたが、今回の赤字により平成25年度決算以来となる14,513千円の未処理欠損金を計上することとなった。

3 資本的収支の状況

収入では、企業債、一般会計出資金の対象事業はなく、医療機器等整備費としての国庫補助金1,020千円のみで、また支出では、1階検査室系統EHPエアコン設置工事や、産婦人科検診台などの医療機器の購入により、総額81,029千円となった。収支不足額の80,009千円については、過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

例年不足財源には、過年度分損益勘定留保資金を充てているが、赤字の継続及び今後の機械設備、医療機器の更新により、目減りしていくことは回避できない状況にあり、補填財源の確保が課題となっている。

4 目標の達成状況

平成29年度は15項目中6項目において目標に達したが、平成30年度は4項目の達成にとどまった。今後さらに様々な経営活動をとおして、達成項目を増やしていく必要がある。

5 数値目標との比較表

別紙のとおり

【 数値目標との比較 】

() は実績、○は達成、×は未達成

項 目		Ⅱ 期 プ ラ ン			新 プ ラ ン 計 画 期 間					経 営 指 標
		25 年 度 実 績	26 年 度 実 績	27 年 度 実 績	28 年 度	29 年 度	30 年 度	元 年 度	2 年 度	
(1) 経常収支比率 (%)		90.1	98.6	90.4	× 96.8 (87.8)	× 98.7 (96.8)	× 103.3 (98.0)	109.2	110.4	102.9
(2) 医業収支比率 (%)		74.8	76.1	69.5	× 73.7 (64.6)	× 74.3 (69.8)	× 75.8 (69.6)	76.5	77.1	86.5
(3) 他会計繰入金対医業収益比率 (%)		35.7	42.1	42.4	× 39.9 (47.9)	× 40.1 (51.0)	× 40.4 (53.3)	40.5	40.9	27.3
(4) 職員給与費の医業収益に対する割合 (%)		76.6	75.8	85.1	× 80.9 (92.7)	× 79.7 (82.9)	× 77.0 (85.1)	75.9	74.8	62.0
(5) 材料費の医業収益に対する割合 (%)		13.5	13.8	13.8	× 12.8 (14.1)	○ 12.7 (12.4)	× 12.6 (12.7)	12.5	12.3	6.5
(6) 薬品費の医業収益に対する割合 (%)		5.9	6.2	6.1	× 5.7 (6.5)	× 5.7 (6.6)	× 5.6 (6.6)	5.6	5.5	12.8
(7) 減価償却費の医業収益に対する割合 (%)		15.5	14.7	16.8	× 15.7 (18.4)	× 15.6 (16.4)	○ 15.6 (13.7)	15.5	15.4	6.2
(8) 病床利用率(一般病床) (%)		73.9	81.0	69.9	× 70.0 (59.1)	○ 70.0 (70.4)	× 70.1 (65.1)	70.2	70.3	71.2
(9) 一日平均患者数	入院(人)	41	45	38	× 38 (33)	○ 38 (39)	× 38 (36)	38	38	49
	外来(人)	151	154	177	× 147 (143)	× 147 (139)	× 147 (137)	149	146	150
(10) 患者 1 人 1 日 当 た り 診 療 収 入	入院(円)	21,825	21,904	21,732	× 22,124 (20,150)	○ 22,234 (24,179)	○ 22,345 (24,184)	22,457	22,569	22,331
	外来(円)	7,453	7,461	6,410	× 7,431 (7,377)	○ 7,416 (7,826)	○ 7,401 (8,045)	7,387	7,372	7,787
(11) 職員 1 人 1 日 当 た り 診 療 収 入	医師(円)	413,348	437,320	397,674	× 382,194 (378,804)	× 359,426 (332,929)	○ 376,243 (401,227)	398,660	396,464	351,394
	看護部門(円)	47,214	49,622	42,941	× 46,483 (41,639)	○ 48,571 (49,901)	× 57,007 (46,118)	60,403	66,077	46,234
(12) 薬品使用効率 (%)		111.5	113.4	118.2	○ 121.6 (124.3)	× 121.5 (107.2)	× 121.5 (109.3)	120.8	122.7	117.1
(13) 病床 100 床 当 た り 職 員 数	医師(人)	7.3	7.3	7.3	8.2 (7.3)	9.1 (9.1)	9.1 (8.9)	11.2	11.2	7.5
	看護部門(人)	68.0	67.6	66.7	67.3 (69.5)	67.3 (65.5)	63.6 (77.3)	73.3	66.7	59.9
	全体(人)	131.5	135.1	134.0	137.3 (138.4)	121.3 (125.8)	118.2 (145.1)	144.4	133.3	103.4